

<別紙>

NEC東京第三データセンターの主な概要（計画）

■ 立地および施設の安全性

<立地>

- ・ 地震：活断層から 10km 以上の距離
- ・ 津波：海岸から直線距離で 20km 以上
- ・ 地盤：非常に固い（N 値 60 以上、注 1）
- ・ 浸水：海拔 50m 以上の高台・ハザードマップ対象外

<施設>

- ・ JDCC(注 2)データセンターファシリティスタンダードティア 4(注 3)相当

(注 1) N 値とは、標準貫入試験（JIS A 1219）によって求められる地盤の強度等を表す数値。50 以上は極めて固いとされる。

(注 2) Japan Data Center Council (JDCC) 特定非営利活動法人 日本データセンター協会

(注 3) JDCC が制定した、日本国内のデータセンターに求められる信頼性を実現するためのファシリティ内容を定めた基準。ティア 4 は最上レベル。

■ 主な仕様

項目	内容
耐震	基礎免震構造
耐水	高台（海拔 53m）、1 階床高を「地盤面 + 1,700mm」で設計
電源設備	特別高圧受電 66kV、本線予備線 2 回線受電、自家発電機（冗長構成）、UPS（冗長構成）
空調設備	中央熱源方式、ターボ冷凍機、エアーハンドリングユニット（冗長化構成）
セキュリティ	24 時間有人監視、共連れ防止、IC カード認証、生体認証、監視カメラ等
通信キャリア	キャリアフリーのため制限なし、複数系統の引込線路
火災対策	超高感度煙感知器、窒素ガス消火設備
公的認証等	FISC 準拠、プライバシーマーク認定、ISO27001 取得予定
付帯設備	備品保管設備、データ保管室、プロジェクト室、会議室